

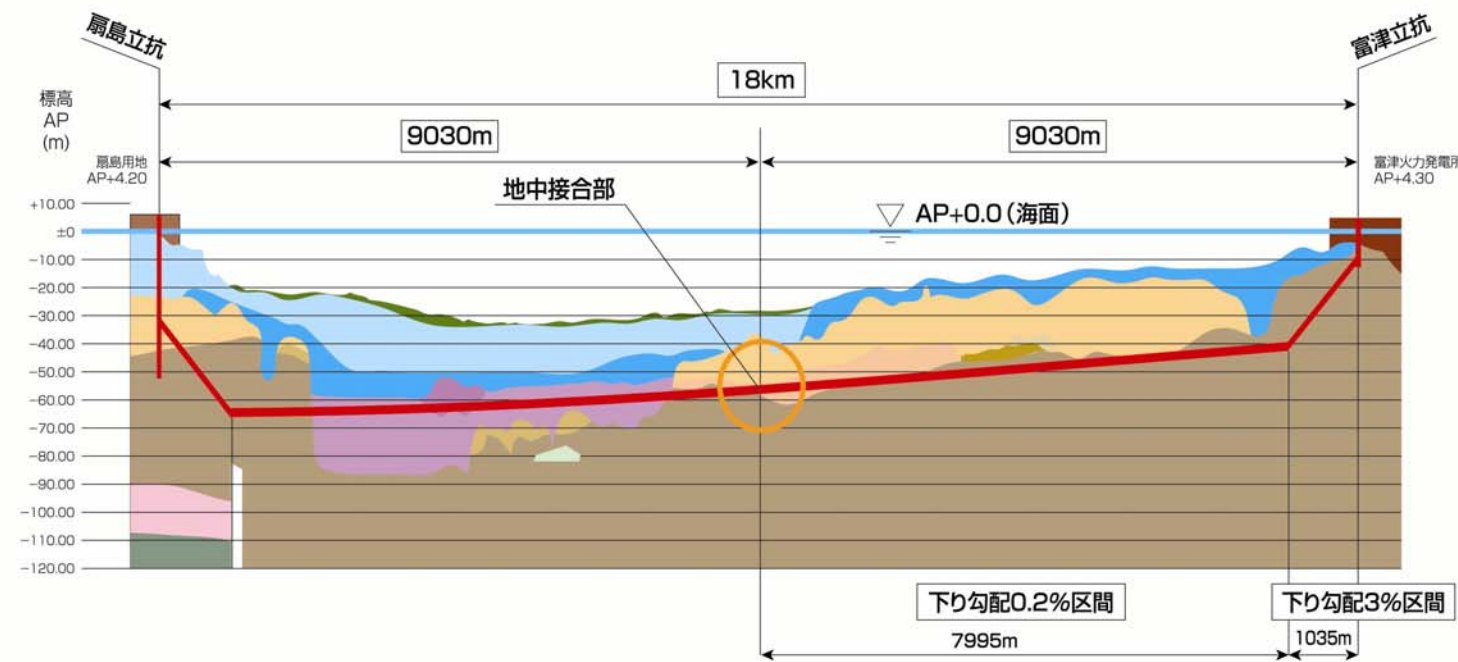
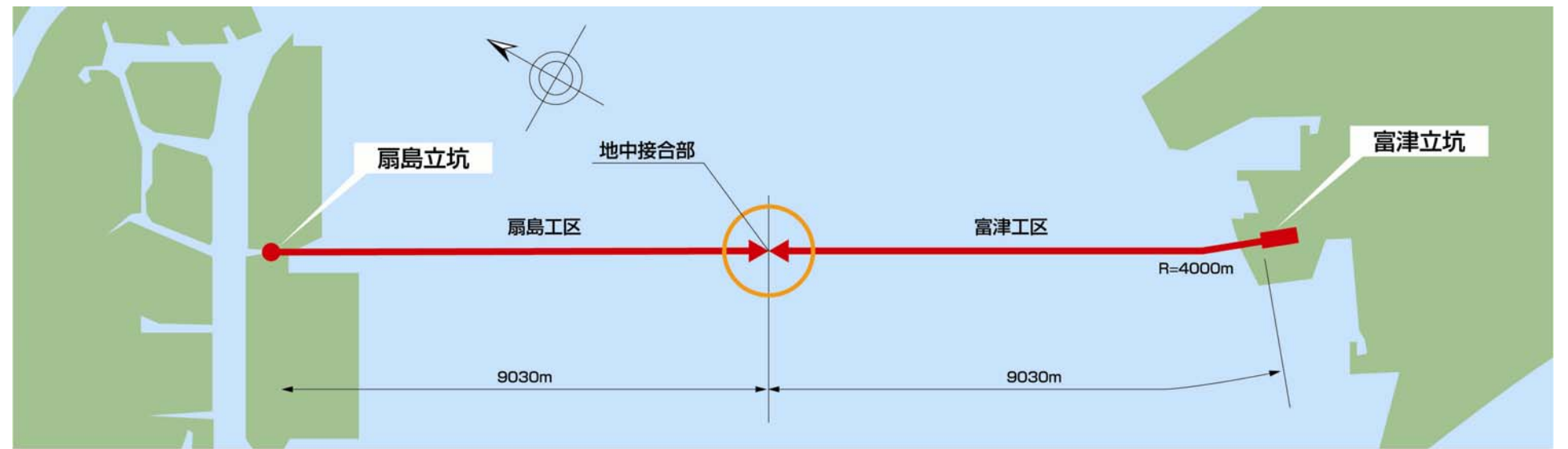
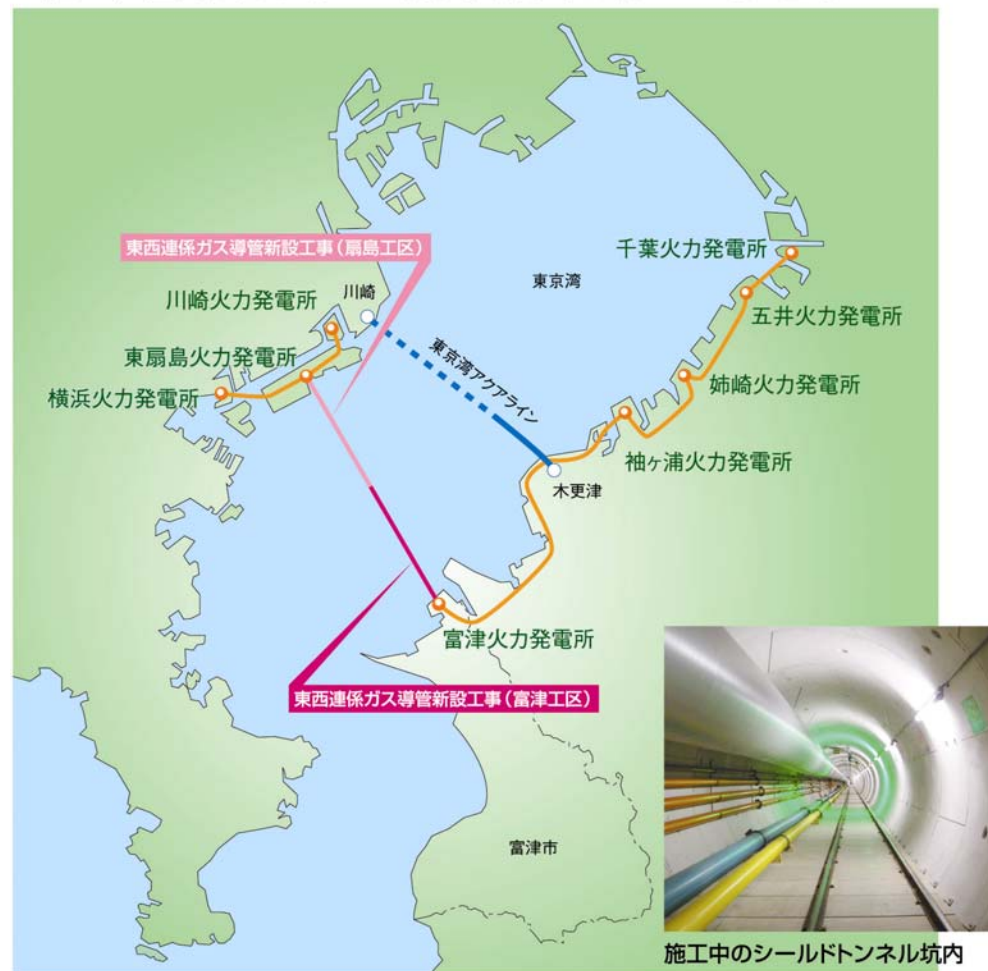
東京電力(株)東西連係ガス導管新設工事（富津工区）の技術概要

1. 設計・掘進上、安定する地層にトンネル線形を配置

掘進地盤については、ほぼ全線が海域部のため、掘進計画線上のボーリングデータはありませんでした。そのため、地質調査は海上からの音波探査結果を10km前後離れたアクアラインのボーリングデータでキャリブレーションし、想定するという間接的な方法で行ったため、不確実性が残っていることが懸念されました。

トンネル線形は安定した洪積層を掘進することとしましたが、地盤の不確実性に対応するため、セグメントは出現する可能性のある地盤条件をすべて考慮した設計を行いました。

■施工位置図（東西連係ガス導管、京葉側・京浜側の8火力発電所）



■地質凡例

地質時代	地層名	色	土質の名称	平均N値	扇島工区	富津工区	
完新世	埋立層	茶色	埋土・盛土	—	—	—	
	浮泥層	緑色	浮泥	—	—	—	
	有楽町層		青色	砂質土	—	—	—
			黄色	粘性土	0	0	—
七号層		青色	砂質土	21	14	—	
		黄色	粘性土	1	1	—	
		紫色	砂質土	39	—	—	
		黄色	粘性土	7	—	—	
		紫色	粘性土	18	—	—	
更新世	下総群 上部		砂質土	60	—	—	
			礫質土	—	—	—	
	下総群 下部		粘性土	26	18	—	
			砂質土	69	58	—	
上総群		砂質土	137	136	—		
		粘性土	31	31	—		
鮮新世		砂質土	—	—	—		
		粘性土	—	—	—		